

2014. 9. 13

平成26年度第3回一関市医療と介護の連携連絡会研修会

口腔ケア こんな時どうしよう

ヨシハラ歯科医院
吉原 瞳

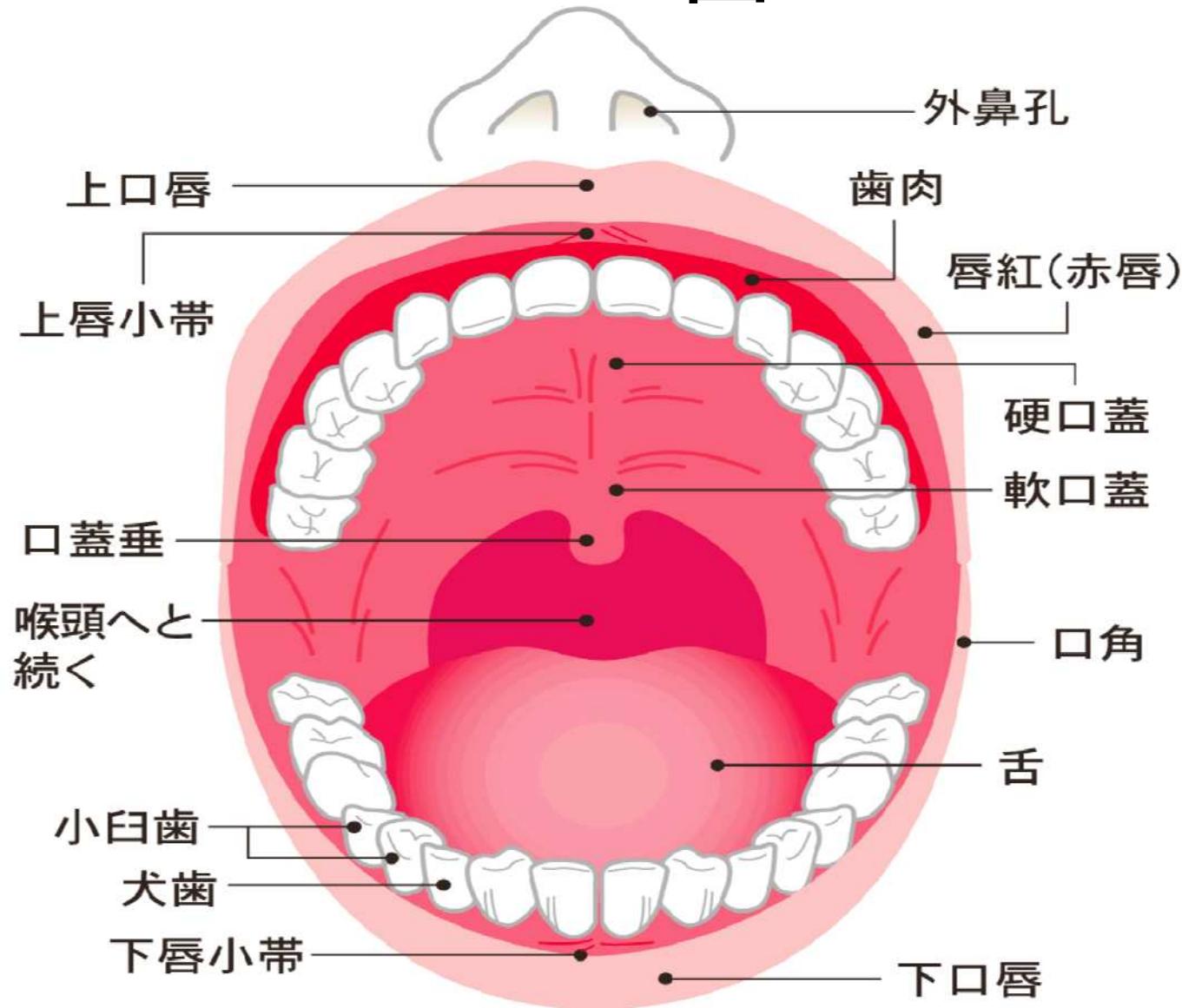
口腔ケアの難しさの理由は

- 視覚（直視）では確認できないところにあるから
- 口は感覚機能として最も鋭いところだから
- 口は呼吸機能の一部なので苦しい状態に陥りやすいから等々

口のどんな所を見たらよいの

- ・ 入れ歯は必ずはずして観察する
- ・ 顔全体の様子
- ・ 口元(顎や唇など)
- ・ 口の中
　歯・歯肉・顎堤・粘膜・舌・入れ歯(義歯)
- ・ 汚れの状況や異常

ヒトの歯



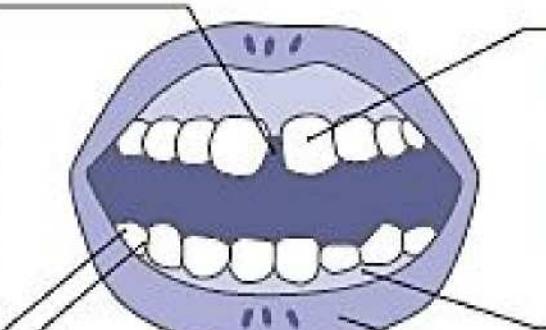
お口のチェックポイント

〈汚れ・痛み〉

- 上あごにねばねばした汚れがついていないか?
- 食べかすなどの汚れがついていないか? (特に麻痺を起こしている側は要チェック)
- 舌の表面にコケのような汚れがついていないか?
- 歯の表面に歯石や汚れはついているか?
- 歯ぐきに傷や、痛みを感じる部分はないか?

〈入れ歯〉

- 入れ歯がはずれやすくなっているか?
- 入れ歯が壊れていないか?
- 入れ歯が汚れていないか?
- 部分入れ歯のバネがかかる歯がかけていないか?



〈嚥下〉

- 食べ物を飲み込みにくいか?
- 飲み込むときに痛みがあるか?
- 食べ物がよくのどに詰まるか?
- 食事中によくむせるか?
- 飲み込んだときに声がかずれるか?
- 発熱したり、肺炎や気管支炎を起こしやすいか?

〈むし歯〉

- 歯のつけ根が黒かったり、黒い穴があいていないか?
- 痛みはないか?
- 詰め物や冠がはずれているところはないか?

〈歯周病〉

- 歯がぐらぐらしていないか?
- 歯ぐきがぶよぶよしていたり、赤く腫れていたりしないか?
- 出血しているところはないか?

〈口臭〉

- 強い口臭はないか?
- くちびるが乾燥してひび割れていないか?

東京都 HP より

口腔ケアが自立している場合

- ・ 握力が弱い場合
- ・ 歯磨剤の使用
- ・ 歯肉からの出血
- ・ 歯のない部分の清掃
- ・ 舌や義歯の清掃
- ・ セルフケア後の口腔内チェック

口腔ケアが一部介助の場合

- ・本人と介助者の役割分担を明確に
- ・本人の残された機能を最大限維持し引き出すことを基本に
- ・できない部分を介助者がフォロー

口腔ケアが全介助の場合

- ・ 乾燥がある場合
- ・ 事前の準備を整える
- ・ 道具の選び方
- ・ 口腔ケアの仕方
 - 歯ブラシ等で毛先磨き
 - ガーグルベースや吸引
- ・ ケアの後の咳払い

口腔ケアに割く時間がない

- ・ 繼続したケアで時間は短縮
　訪室の度に口腔内を観察、濡らした
　ガーゼで汚れをふき取る
　乾燥している場合、保湿剤を塗布し
　保湿をしておくとケア時間の短縮
- ・ 口腔環境の変化に応じたケアプランの修正
　口腔ケアの目的は「口腔内の細菌増殖
　を防止し唾液の分泌を促し、口腔内の
　自浄作用を促進する」

経口摂取を行っていない

- ・ 口から食べなければ汚れないと思っていませんか
唾液や水を誤嚥する危険性が高い
- ・ うがいの出来ない人
ガーゼ、スポンジ、吸引器の利用
- ・ 口腔乾燥の人
感染予防と保湿

歯ブラシを噛みしめたり、手が出る等 拒否の強い患者への対応は

- ・ 患者にあったケアプラン作成
　　症状に対応
　　精神状態が安定している時間帯にケア
　　ケアに集中できる環境づくり
　　無理強いせずに見守りと励ましを
- ・ 2人以上で行う
　　不測の事態や開口維持困難を想定し対応

口を開けてくれない

- ・ 口の中が過敏になっている場合があります
- ・ コミュニケーションの可否確認、姿勢、位置確認
- ・ 体幹の外側からのマッサージ
- ・ 口角から口腔前庭に指を入れ頬・歯肉に刺激
- ・ K-pointへの刺激
- ・ 開口器・開口維持器の装着